

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年4月14日

**【四半期会計期間】** 第28期第3四半期(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

**【会社名】** ファーマライズホールディングス株式会社

**【英訳名】** Pharmarise Holdings Corporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大野 利美知

**【本店の所在の場所】** 東京都中野区中央一丁目38番1号

**【電話番号】** 03-3362-7130(代表)

**【事務連絡者氏名】** 専務取締役 執行役員 秋山 昌之

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中野区中央一丁目38番1号

**【電話番号】** 03-3362-7130(代表)

**【事務連絡者氏名】** 専務取締役 執行役員 秋山 昌之

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第27期 第3四半期 連結累計期間	第28期 第3四半期 連結累計期間	第27期
会計期間		自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日	自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日	自 平成24年6月1日 至 平成25年5月31日
売上高	(千円)	23,469,151	27,818,275	33,357,066
経常利益	(千円)	761,201	881,105	1,228,220
四半期(当期)純利益	(千円)	689,630	280,662	958,001
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	697,580	280,514	971,652
純資産額	(千円)	4,185,305	5,486,955	4,459,377
総資産額	(千円)	22,695,504	24,200,686	23,774,243
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	91.95	37.05	127.73
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	-	36.88	-
自己資本比率	(%)	17.7	21.9	18.1

回次		第27期 第3四半期 連結会計期間	第28期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日	自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	6.12	11.39

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 平成25年12月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第27期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。なお、第27期及び第27期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）において営まれている事業の内容に大きな変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成25年6月1日～平成26年2月28日）におけるわが国の経済状況は、経済・金融政策の効果等を背景に、企業業績や個人消費の改善が見られるなど、景気は緩やかに回復しつつあります。

このような情勢のもと、当社グループは、引き続き新規出店による事業基盤の拡大に努めるとともに、異業種との業務提携等による調剤薬局の面展開や新業態の開発に積極的に取り組んでおります。

また、当社は、平成26年1月24日付で公表のとおり、岩淵薬品株式会社と業務資本提携契約を締結するとともに、公募及び第三者割当による新株式発行、自己株式の処分並びに当社株式の売出しを行いました。このうち、第三者割当による新株式発行は、このたび新たに業務資本提携契約を締結した岩淵薬品株式会社、並びに以前より当社と業務資本提携関係にある株式会社ほくやく、株式会社バイタルネット、中北薬品株式会社の計4社を割当先として実施いたしました。また併せて、当第3四半期連結累計期間において当社は、平成26年2月17日をもって東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）から市場第二部へと市場変更いたしました。

なお、第三者割当による新株式発行に関しましては、当第3四半期連結累計期間終了後の平成26年3月12日を払込期日として、別途、大和証券株式会社を割当先とする第三者割当による新株式発行を実施しております。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高が27,818百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益が1,103百万円（同15.9%増）、経常利益が881百万円（同15.8%増）と前年同期比で増収増益を確保いたしました。四半期純利益は280百万円（同59.3%減）となりました。

売上高につきましては、前連結会計年度に取得した新世薬品株式会社や有限会社たかはし（現 株式会社たかはし）等の調剤薬局事業会社及び紙カルテやレントゲンフィルム等の医学資料の保管・管理業務を行う株式会社寿製作所が連結売上高に寄与したほか、処方せん単価の上昇等により前年同期比で増収を確保いたしました。

営業利益と経常利益につきましては、今後の店舗展開に備えた人員採用等により労務費が増加したほか、前連結会計年度に取得した連結子会社の費用計上やのれん償却等により、売上原価と販売費及び一般管理費は増加しましたが、売上高の増加で吸収を図り、前年同期比で増益を確保いたしました。四半期純利益につきましては、前年同期比で減益となりましたが、その主な要因は、前年同期に新世薬品株式会社の連結子会社化に伴い段階取得に係る差益として413百万円の特別利益を計上したこととあります。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

### (調剤薬局事業)

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、7店舗（留萌大町店（北海道）、みよし店（愛知県）、末広町店（東京都）、納店（兵庫県）、西友ひたち野うしく店（茨城県）、西友福生店（東京都）、富士店（静岡県））の新規開局を行い、当社グループが運営する調剤薬局は同期間末時点で209店舗（直営208店舗、FC1店舗）となりました。新規開局した店舗のうち末広町店（東京都）は、株式会社ファミリーマートとの業務提携に基づき開局した調剤薬局とコンビニエンスストアの機能を兼ね備えた一体型店舗の第1号店であります。

薬局運営面につきましては、中期経営計画で掲げるソフト（高付加価値）戦略に基づき、地域医療（在宅医療・施設調剤）、後発医薬品、予防医療、に関する取り組みを展開しております。また、医薬分業率が既に一定水準に到達している状況を踏まえ、株式会社ヤマダ電機や株式会社ファミリーマートとの業務提携等に基づく調剤薬局の面展開や新業態の開発を推進しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における調剤薬局事業の業績は、売上高は26,326百万円（前年同期比16.7%増）、セグメント利益は1,142百万円（同11.9%増）となりました。

### (その他)

その他の事業の主な内容は、北海道ファーマライズ株式会社がJR札幌駅内の「JRタワーオフィスプラザさっぽろ」で展開する「ファーマライズ医療モール」の運営と、株式会社寿製作所が手掛ける紙カルテやレントゲンフィルム等の医学資料の保管・管理事業であります。その他は、当社による処方データの販売、株式会社ふじい薬局による化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸売販売、ファーマライズ株式会社の子会社である株式会社レイケアセンターによる人材派遣事業等であります。

その他の事業における当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,491百万円（前年同期比64.7%増）、セグメント利益は151百万円（同84.8%増）となりました。

## (2) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は10百万円であります。

## (3) 重要な設備

## 重要な設備の新設完了

前連結会計年度末における重要な設備の新設の計画について、当第3四半期連結累計期間において完了した設備は、以下の通りであります。

会社名	セグメントの名称	設備の内容	所在地 (店舗数)	投資額 (千円)	完了年月
ファーマ ライズ㈱	調剤薬局事業	新規店舗	静岡県 (1)	39,972	25年11月
			愛知県 (1)	31,802	25年8月
	小計			71,774	
北 海 道 ファーマ ライズ㈱	調剤薬局事業	新規店舗	北海道 (1)	52,988	25年6月
	小計			52,988	
ファーマ ライズプ ラス㈱	調剤薬局事業	新規店舗	東京都 (1)	19,028	25年9月
			茨城県 (1)	6,893	25年10月
	小計			25,921	
合計				150,685	

(注)金額に消費税等は含んでおりません。

## 重要な設備の新設計画の中止

前連結会計年度末における重要な設備の新設の計画について、当第3四半期連結累計期間において中止した設備は、以下の通りであります。

会社名	セグメントの名称	設備の内容	所在地 (店舗数)	投資予定額(千円)		資金調達方法
				総額	既支払額	
ファーマラ イズ㈱	調剤薬局事業	新規店舗	静岡県 (1)	34,800		借入金及び 自己資金
			福岡県 (1)	24,000		
合計				58,800		

(注)金額に消費税等は含んでおりません。

## 重要な設備の新設計画の変更

前連結会計年度末における重要な設備の新設計画について、当第3四半期連結累計期間末において変更した設備は、以下の通りであります。

会社名	セグメントの名称	設備の内容	所在地 (店舗数)	投資予定額(千円)		資金調達方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力	
				総額	既支払額					
ファーマライズ(株)	調剤薬局事業	新規店舗	富山県 (1)	32,650	13,243	増資資金、 借入金及び 自己資金	25年12月	26年3月	63㎡	
			福井県 (1)	24,500			26年1月	26年4月	100㎡	
		26年5月期計			57,150	13,243				163㎡
		新規店舗	福島県 (2)	79,800		増資資金、 借入金及び 自己資金	26年12月	27年3月	200㎡	
			埼玉県 (1)	30,000			26年7月	26年9月	100㎡	
			石川県 (1)	35,300			26年6月	26年9月	85㎡	
			愛知県 (1)	23,300			26年6月	26年9月	90㎡	
			滋賀県 (2)	121,800			26年10月	27年1月	180㎡	
		27年5月期計			290,200					655㎡
		小計			347,350	13,243				818㎡
(株)みなみ薬局	調剤薬局事業	新規店舗	群馬県 (1)	40,000	82	増資資金、 借入金及び 自己資金	26年1月	26年4月	59㎡	
			26年5月期計				40,000	82		
		小計			40,000	82				59㎡
(株)双葉	調剤薬局事業	新規店舗	京都府 (1)	23,300		増資資金、 借入金及び 自己資金	26年7月	26年9月	85㎡	
			27年5月期計				23,300			
		小計			23,300					85㎡
北海道 ファーマライズ(株)	調剤薬局事業	新規店舗	青森県 (1)	145,000	45,465	増資資金、 借入金及び 自己資金	25年12月	26年4月	170㎡	
			26年5月期計				145,000	45,465		
		小計			145,000	45,465				170㎡
(株)ふじい薬局	調剤薬局事業	新規店舗	北海道 (1)	18,500		増資資金、 借入金及び 自己資金	26年6月	26年8月	85㎡	
			27年5月期計				18,500			
		小計			18,500					85㎡
(株)テラ・ヘル スプロ モーション	調剤薬局事業	新規店舗	大阪府 (1)	38,000	2,304	増資資金、 借入金及び 自己資金	26年1月	26年4月	100㎡	
			26年5月期計				38,000	2,304		
		新規店舗	大阪府 (2)	58,600		増資資金、 借入金及び 自己資金	26年9月	27年2月	190㎡	
			27年5月期計				58,600			
		小計			96,600	2,304				290㎡
新世薬品(株)	調剤薬局事業	新規店舗	兵庫県 (2)	401,000	249,233	増資資金、 借入金及び 自己資金	25年9月	26年3月	700㎡	
			26年5月期計				401,000	249,233		
		小計			401,000	249,233				700㎡
(株)寿製作所	その他	新規倉庫他	群馬県 (2)	90,378	2,037	増資資金、 借入金及び 自己資金	26年3月	27年6月	938㎡	
			小計				90,378	2,037		
合計				1,162,128	312,367				3,145㎡	

(注)金額に消費税等は含んでおりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	31,398,000
計	31,398,000

(注) 平成25年7月29日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株を普通株式100株の割合で株式分割しており、これにより、発行可能株式総数は31,084,020株増加しております。

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年2月28日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年4月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,849,500	8,999,500	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 であります。
計	8,849,500	8,999,500	-	-

- (注) 1 平成25年7月29日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株を普通株式100株の割合で株式分割しており、これにより、発行済株式数は7,771,005株増加しております。
- 2 提出日現在発行数には、平成26年4月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。
- 3 平成26年1月24日開催の取締役会の決議に基づき、平成26年2月14日を払込期日とする一般募集及び第三者割当増資による新株発行により、発行済株式数が1,000,000株増加しております。
- 4 平成26年2月17日をもって、当社株式は東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から市場第二部へ市場変更しております。
- 5 平成26年1月24日開催の取締役会の決議に基づき、平成26年3月12日を払込期日とする大和証券株式会社を割当先とした第三者割当増資による新株発行により、発行済株式数が150,000株増加しております。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。



## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年12月1日 (注)1	7,771,005	7,849,500		815,545		762,846
平成26年2月14日 (注)2	702,000	8,551,500	209,750	1,025,295	209,750	972,596
平成26年2月14日 (注)3	298,000	8,849,500	94,913	1,120,208	94,913	1,067,509

(注)1 平成25年12月1日をもって普通株式1株を普通株式100株の割合で株式分割しております。

## 2 有償一般募集

発行価格 637円 発行価額 597.58円 資本組入額 298.79円

## 3 第三者割当

発行価格 637円 資本組入額 318.50円

主な割当先 岩淵薬品(株)、(株)ほくやく、(株)バイタルネット、中北薬品(株)

## 4 平成26年3月12日を払込期日とする有償第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)を実施しております。

発行済株式増加数 150,000株 発行価格 597.58円 資本組入額 298.79円

割当先 大和証券(株)

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,492	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 75,003	75,003	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	78,495	-	-
総株主の議決権	-	75,003	-

(注)1 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年11月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 2 平成25年7月29日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株を普通株式100株の割合で株式分割しております。

## 【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) ファーマライズホールディングス株式会社	東京都中野区中央1-38-1	3,492	-	3,492	4.4
計	-	3,492	-	3,492	4.4

(注) 平成25年7月29日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株を普通株式100株の割合で株式分割しております。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,676,231	3,861,880
売掛金	1,890,601	1,882,226
商品	967,868	1,271,182
未収入金	1,408,029	1,369,179
その他	417,746	535,966
貸倒引当金	21,134	21,254
流動資産合計	8,339,342	8,899,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,986,923	3,033,163
土地	2,400,137	2,413,473
その他(純額)	534,891	635,328
有形固定資産合計	5,921,952	6,081,965
無形固定資産		
のれん	7,016,482	6,690,488
ソフトウェア	230,925	197,946
その他	50,606	99,062
無形固定資産合計	7,298,015	6,987,497
投資その他の資産		
差入保証金	885,684	910,827
その他	1,406,080	1,381,711
貸倒引当金	94,892	88,041
投資その他の資産合計	2,196,872	2,204,497
固定資産合計	15,416,840	15,273,960
繰延資産		
株式交付費	2,438	6,895
社債発行費	15,621	20,648
繰延資産合計	18,060	27,543
資産合計	23,774,243	24,200,686

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,332,177	5,675,502
短期借入金	1,350,000	291,537
1年内償還予定の社債	398,000	487,000
1年内返済予定の長期借入金	2,954,600	2,640,315
未払法人税等	311,118	218,682
賞与引当金	83,410	150,370
その他	1,020,238	787,508
流動負債合計	11,449,545	10,250,916
固定負債		
社債	691,500	953,500
長期借入金	6,346,599	6,715,302
退職給付引当金	295,279	313,246
その他	531,941	480,765
固定負債合計	7,865,320	8,462,813
負債合計	19,314,865	18,713,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,545	1,120,208
資本剰余金	762,846	1,187,876
利益剰余金	2,789,541	2,965,200
自己株式	88,308	-
株主資本合計	4,279,624	5,273,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,920	17,536
その他の包括利益累計額合計	18,920	17,536
新株予約権	-	34,416
少数株主持分	160,831	161,717
純資産合計	4,459,377	5,486,955
負債純資産合計	23,774,243	24,200,686

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	23,469,151	27,818,275
売上原価	20,092,357	23,624,131
売上総利益	3,376,793	4,194,143
販売費及び一般管理費	2,424,852	3,090,555
営業利益	951,940	1,103,588
営業外収益		
受取利息	3,582	5,841
受取配当金	908	1,235
物品売却益	12,096	35,538
受取賃貸料	15,784	14,660
その他	15,107	28,726
営業外収益合計	47,479	86,002
営業外費用		
支払利息	122,564	159,383
持分法による投資損失	55,220	17,822
支払手数料	11,945	59,595
休止固定資産費用	19,566	14,923
その他	28,922	56,760
営業外費用合計	238,219	308,485
経常利益	761,201	881,105
特別利益		
固定資産売却益	142	8
投資有価証券売却益	-	10,379
段階取得に係る差益	413,298	-
収用補償金	17,755	-
特別利益合計	431,197	10,388
特別損失		
固定資産売却損	-	102
固定資産除却損	5,220	33,279
投資有価証券売却損	52,951	-
賃貸借契約解約損	17,435	12,670
特別損失合計	75,606	46,051
税金等調整前四半期純利益	1,116,792	845,441
法人税等	422,450	563,543
少数株主損益調整前四半期純利益	694,341	281,898
少数株主利益	4,710	1,235
四半期純利益	689,630	280,662

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	694,341	281,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,384	1,384
持分法適用会社に対する持分相当額	145	-
その他の包括利益合計	3,239	1,384
四半期包括利益	697,580	280,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	692,870	279,278
少数株主に係る四半期包括利益	4,710	1,235

## 【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

## 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。



## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)
減価償却費	279,579千円	339,251千円
のれんの償却額	236,416千円	434,211千円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月28日 定時株主総会	普通株式	75,003	1,000	平成24年5月31日	平成24年8月29日	利益剰余金

## 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月27日 定時株主総会	普通株式	105,004	1,400	平成25年5月31日	平成25年8月28日	利益剰余金

## 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	22,563,473	22,563,473	905,677	23,469,151	-	23,469,151
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	22,563,473	22,563,473	905,677	23,469,151	-	23,469,151
セグメント利益	1,021,482	1,021,482	82,199	1,103,681	151,740	951,940

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業、医療モール経営事業、人材派遣事業及び医学資料保管・管理事業等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 151,740千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	26,326,586	26,326,586	1,491,688	27,818,275	-	27,818,275
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	26,326,586	26,326,586	1,491,688	27,818,275	-	27,818,275
セグメント利益	1,142,899	1,142,899	151,942	1,294,842	191,254	1,103,588

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業、医療モール経営事業、人材派遣事業及び医学資料保管・管理事業等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 191,254千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	91.95円	37.05円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	689,630	280,662
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	689,630	280,662
普通株式の期中平均株式数(株)	7,500,300	7,574,432
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-円	36.88円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	34,950
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、平成25年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。なお、前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

**(重要な後発事象)**

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年4月11日

ファーマライズホールディングス株式会社  
取締役会 御中

### 優成監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	渡 邊 芳 樹
指定社員 業務執行社員	公認会計士	鶴 見 寛
指定社員 業務執行社員	公認会計士	波賀野 徹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているファーマライズホールディングス株式会社の平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年12月1日から平成26年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成26年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ファーマライズホールディングス株式会社及び連結子会社の平成26年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。